



令和7年7月17日
小田原市立矢作幼稚園
園長 石川 浩一

毎朝、お子さんと保護者の方々に「お・は・よ・う・ご・ざ・い・ま・す」と挨拶しています園長の石川浩一です。1学期も皆様のご支援・ご協力により大きな事故やけが等がなく無事に過ごすことができうれしく思います。ありがとうございました。

あっという間の4か月でした。私は小学校での経験しかなく幼稚園は全くの未体験な世界で、驚くことばかりでした。

4月当初は右も左もわからず悪戦苦闘・試行錯誤の毎日でした。さくら組の子どもたちと同じ気持ちだったと思います。最近ようやく幼稚園の一日の流れなどが分かるようになり、仕事の要領もつかめるようになってきました。

ここまで幼稚園とはほとんど関係がない私が、なんとかやってこれたのは保護者の皆さんがいつも明るく元気に向き合ってくくださったこと、

地域の皆さんや園運営の関係者の方々が温かい心で見守り励ましてくださったこと、矢作幼稚園のスタッフの皆さんがすぐにいろいろ教えてくださったこと等、たくさんの心配り・気づかいのおかげだと感謝しています。

幼稚園の数が確実に減っている事情の中で、この矢作幼稚園を選んでいただいたことに感謝し、**その感謝の気持ちを忘れない働き方**ができるよう努力していきます。今後も引き続きご指導・ご助言をよろしくお願いいたします。



・当たり前のことが当たり前になっている幼稚園
・当たり前のことが当たり前ができる先生と園児
「当たり前」って簡単そうで難しいことですね！

さて、私には、大きく**2つの使命**があると考えています。

一つは、「**心も体も安心安全な幼稚園**」をつくることです。

- ・心の安心安全とは「また明日も行きたい」と思える幼稚園
- ・体の安心安全とは「ってきます」の時と同じ姿で「ただいま」ができる幼稚園

を表しています。

もう一つは、「**小学校との連携が図れる幼稚園**」をつくることです。

- ・連携とは、幼稚園から小学校へのスムーズな移行ができるために必要な態度であったり、見方・考え方であったり等を園児が身につけることができるようにしていくことです。

中でも、小学校現場出身ならではの知識や情報は、これから入学を迎える年長さんやその保護者の皆さんにも少しはお役に立てることがあるかと思います。

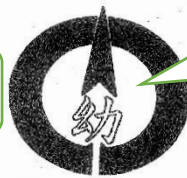
小さな集団から大きな集団へと飛び込んでいく勇気・不安・期待等複雑な思いの中で1日を過ごすことになり、心も体もすごく疲れます。小学校と幼稚園とのギャップ（小1ギャップともいわれています）を少なくできる何か工夫した活動を取り入れたいと考えています。

この2つの使命が両立することで、本園が目指す「元気、笑顔があふれる学びの多い幼稚園」の土台が築けると考えています。





矢作幼稚園が目指す姿



開園記念日 5月1日 開園 51歳
絶対に1度しかないダブル51

ここで、本園のグランドデザイン（ホームページ参照）の中に示されている、目指す幼稚園像「元気、笑顔があふれる学びの多い幼稚園」について触れていきます。

キーワードの「元気」と「笑顔」は、わかりやすいですが、「学びが多い」はイメージしにくいキーワードです。

「学びが多い」ということは、子どもたちが「ねらい」をもって活動し、成長できるということです。ここでいうねらいとは、教師によるねらいを示しています。

ただ遊んで楽しいではなく、遊んだことでいろいろなことが獲得でき身につけられることです。子どもたちが、そのような姿に変容していけば、学びが多い姿を表すことになります。

別の言い表し方にすれば、子どもにとっては「遊ぶ」でも教師にとっては「学ぶ」になっていることが大切です。この学ぶという教育的な活動は、次の5つの領域で構成されていて、それぞれに求められる力が示されています。（幼稚園教育要領から引用しています）

□健康・心身の健康に関する領域

→健康な体と心を育て、自ら健康で安全な生活を作り出す力を養う。

□人間関係・人とのかかわりに関する領域

→他の人々と親しみ、支え合って生活するために、自立心を育て、**人とかかわり合う力**を養う。

□環境・身近な環境とのかかわりに関する領域

→周囲の様々な環境に好奇心や探求心をもってかかわり、それらを生活に取り入れていこうとする力を養う。

□言葉・言葉の獲得に関する領域

→経験したことや考えたことなどを自分なりの言葉で表現し、相手の話す言葉を聞こうとする意欲や態度を育て、言葉に対する感覚や言葉で表現する力を養う。

□表現・感性と表現に関する領域

→感じたことや考えたことを自分なりに表現することを通して、豊かな感性や表現する力を養い、創造性を豊かにする。

この5つの領域を、子どもたちが効果的にかつ積極的に経験できる場や機会を、1年間を通して意図的・計画的・組織的に仕組んだプラン作りをしています。そうすることで、学びが多い過ごし方ができるようにしています。

小田原市では、教育の柱を「**社会力の育成**」という言葉で、人やものやこと等と「**かかわり合う力の育成**」の重要性を述べています。その力を柱としてこの5つの領域の教育活動をつくっていくための基本的な枠組みを、本園では次のように設計しています。

具体的には、1年を大きく3つに分け、それぞれに下記のようなねらいをもって、教育しています。そこで見られる姿は「やはぎっ子の一日」というタイトルで、引き続き皆様にお届けしていきます（ホームページ参照）。





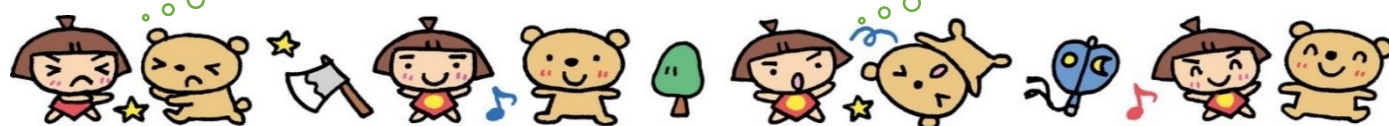
やはぎっ子育成プラン

園内研究でも、テーマを「園児が遊び込むための環境や援助」とし、実践を積み重ねていくことでよりよい育成ができるように取り組んでいます。

	1学期 4月5月6月7月まで	2学期 9月10月11月12月まで	3学期 1月2月3月まで
	出会いを大切にするとき	共に生きる喜びを味わうとき	別れを惜しむとき
かかわり 合う場や 機会	やはぎっ子の一日で、その姿を発信していきます（ホームページ掲載）		
子どもの 成長の姿	慣れる ・園の過ごし方を知り、約束を守って正しく過ごそうとする。	親しむ ・知ったことを使って、みんなと一緒に仲良く過ごそうとする。	生かす ・思い出に残る過ごし方をみんなで楽しくすることができる。
子どもの 学びの姿	わかる ・取り組む内容や方法等が理解できる。	できる ・わかるようになった内容や方法等で、色々なことが正しく表現できる。	楽しむ ・できるようになった内容や方法等で、色々なことを工夫して楽しむことができる。

園も保護者もチャレンジ！

みんなに優しく温かく！



□多目的ルームをつくりました。

広々として空調が利用できる場所として、空き保育室になっていた「すみれ組」を新たに「多目的ルーム」としてリニューアルして開放することにしました。各種会議、PTA 活動に関する準備や話し合い、面談・相談、打ち合わせ等、ご利用の際には園長に知らせてください。本園職員が利用している場合は、こちらを優先させていただきます。どうぞご理解・ご協力をお願いします。



□自転車置き場を使いやすくしました。

登園後、園に残るような場合は、今までは本園駐車場でしたが、9月からはビンの門から入って裏のテラスの指定された場所に移動して置いてください。

また、お子さんのけがや病気等のお迎えは、自転車や徒歩でなく車で来園でも構いません。その際は、本園駐車場をご利用ください。保護者の皆さんに気持ちよく利用していただくことで、今後も利用条件が広がることを願っています。



□清掃活動のスリム化を図りました。

年2回（9月と2月）開催される全員参加のPTA 清掃は、今年度から外回りの清掃はやめることにします。（その代わりとして草むしりウィークを設け、1人10本程度草をとる活動を検討しています。）

それに伴って、外回りが減ったことで年2回のうち1回だけ参加すればよいことにします。何かの事情で欠席される場合が生じた際には、その振り替え日を設け参加していくことになっていましたが、今年度からは設けませんのでご承知おきください。詳細は、PTA からのお知らせが配布されますのでご覧ください。

ボランティア活動のオープン化にチャレンジしてます。

もっと気軽に気楽に参加できるようにしたいと考え、今年度はボランティアの内容別に分けて活動する形式から、「いつでも どこでも だれとでも、できるときに できる人が できることを」の形式に変えました。

本園側からボディペインティング等の教育活動のお手伝いを要請する場合もあれば、絵本屋さんのような企画もものの募集もあれば様々です。一度は何かしらに参加していただけると意外と新しい発見ができ、楽しい思い出になると思います。



第1回幼稚園関係者委員会が開催されました（令和7年5月27日）

委員の方は、次の9名です。例年決められた役職となっています。子どもたちの様子を参観し、園に関する貴重なご意見をいただき、園づくりに生かすようにしています。

- ・岩田 真由美（矢作小学校校長）
- ・山村 健藏（下府中地区自治会連合会会長）
- ・秋山 榮太郎（下府中地区社会福祉協議会会長）
- ・川本 裕之（下府中地区体育振興会会長）
- ・官野 稔（矢作地区自治会会長）
- ・卯月 玲子（下府中地区主任児童委員）
- ・諸星 亜美（矢作幼稚園保護者と教師の会会長）
- ・石川 浩一（矢作幼稚園園長）
- ・三上 幸子（矢作幼稚園副園長）

今回初めて年長組の「お店屋さんごっこ」の保育参観をするにあたり、矢作幼稚園担当者以外の6名の委員の方に、次の3観点で4段階評価のアンケートにお答えいただきました。（カッコ内はアンケート実施後の得点）

1 やはぎのや→優しい心

※相手（買いに来た人）に対して、やさしい態度で接しようとしていましたか

とてもよい（4） よい（2） ふつう（ ） がんばれ（ ）

アンケート
にお答え
ください

2 やはぎのは→話す・聞く

※自分の役割（お店の店員）をしっかりと相手と伝え合おうとしていましたか

とてもよい（3） よい（2） ふつう（1） がんばれ（ ）



3 やはぎのぎ→疑問・興味関心

※相手にたくさん買ってもらうために、みんなでよいお店にしようとしていましたか

とてもよい（4） よい（ ） ふつう（2） がんばれ（ ）

アンケートの結果から、前述の育成プランの子どもの成長や学びの段階と似ている傾向が出ていました。つまり、1については、お店の仕方がようやくわかってきたという段階、2については、正しく対応・接客できるにはまだ今一步、したがって、3のよりよく工夫することまではまだ及ばないということになったといえると思います。その後のお店屋さんごっこでは、お客さん目線に立ち、どのようにして魅力的な商品化を図るかを子ども一人一人が考えて実践し始めていたので、教師の意図的・計画的な指導が効果的になされたといえるでしょう。

できたらいいな！？
こんなこと、あんなこと
（未来編）



教材費の集金回数の軽減化

12回から6回へ、そして、3回へ段階的に減らしていけたら、事務処理の集計、入・出金の手間が減り、その分を園児に必要なサポートの仕事にあてられます。

子育てコミュニティ広場

直接的な子育て講座ではなく、サロンのな子育て情報交換をしたいです。ボランティアで保護者対象の講座、例えば、年賀状用に絵手紙づくり。絵手紙の講師になれる方がいれば、園児が登園後そのまま残って絵手紙をつくってみる、つくりながら子育てのことを話してもいいし、雑談をしてもいいし、子育てに関する気持ち的な部分を少し軽くできると楽しくなります。お習字でもいいですね。書初め等々。